



2024年4月3日

各 位

会社名 伊藤忠商事株式会社
代表者名 代表取締役社長COO 石井 敬太
(コード番号 8001 プライム市場)
問合せ先 IR部長 原田 和典
(TEL. 03-3497-7295)

経営方針「The Brand-new Deal」及び2024年度経営計画に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、経営方針「The Brand-new Deal ～利は川下にあり～」及び2024年度経営計画を決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上

2024年4月3日
伊藤忠商事株式会社

経営方針「The Brand-new Deal ～利は川下にある～」
及び 2024 年度経営計画策定について

当社はこの度、経営方針「The Brand-new Deal ～利は川下にある～」及び 2024 年度経営計画を策定いたしました。

当社は 2011 年来、Brand-new Deal 2012 から直近の Brand-new Deal 2023 まで、併せて5度の中期経営計画を実行しており、本来であれば当期は中期経営計画を公表するタイミングです。しかしながら、昨今の激変する世界情勢に鑑み、為替や資源価格等を始めとした経営環境に大きく左右され得る3カ年の計画を前例に従い策定するのではなく、ステークホルダーの皆さまに、より有用な情報をお伝えするため、不確実なこの時代において、当社が長期にわたって羅針盤とすべき「経営方針」を定め、かつ目の前の1年間しっかりと自信を持って約束できる利益計画・財務関連指標や株主還元を、併せて公表することにいたしました。

経営方針については、これまで当社の成長を支えてきた基本的な考え方や経営手法を踏襲する意味を含め、タイトルを「The Brand-new Deal」としています。全社員が「利は川下にある」の考えに基づいてマーケティング力を磨き、世の中のニーズの変化を先取りするとともに、祖業である川下分野から川上・川中まで幅広い分野で培った資産・ノウハウを活用し、成長投資を加速させることで事業領域を拡大してまいります。投資を通じた着実な収益成長に加え、企業ブランド価値の向上、株主還元拡大の3本柱で、企業価値の持続的な向上を目指します。

2024 年度経営計画

利益計画	株主還元	成長投資
連結純利益 8,800 億円 ROE 16%	総還元性向 50% 目途 ・1 株当たり配当 200 円下限 (前期比+40 円) ・自己株式取得 約 1,500 億円	1 兆円を上限 NET DER 0.6 倍未満

※セグメント別利益計画及びその他業績予想の詳細につきましては5月8日に公表予定です。

経営方針、2024 年度経営計画の詳細は別紙のとおりです。

以上

経営方針

/// The Brand-new Deal

～ 利は川下にある ～

伊藤忠商事株式会社

2024年4月3日



ひとりの商人、無数の使命

～ 利は川下にある ～

営業から管理部門に至る全社員が常にマーケティング力を磨き
創業以来160年超にわたって築き上げてきた川上・川中における資産・ノウハウを駆使し
より消費者に近い川下ビジネスを開拓・進化させ
企業価値の持続的向上を目指す

業績の向上	投資なくして成長なし
企業ブランド価値の向上	定性面の磨き
株主還元	総還元性向40%以上 配当性向30%、または、1株当たり配当200円 のいずれか高い方

投資なくして成長なし



「業績の向上」に向け、安定した事業基盤を活用した川下起点の投資を加速
事業領域の拡大及び事業基盤の強化・拡充により更なる成長を目指す

安定した事業基盤

- ✓ 伝統的に強みのある川下分野
- ✓ 川上・川中の資産・ノウハウ

成長投資の加速

- 事業領域の拡大
- 事業基盤の更なる強化・拡充

マーケットインの発想

より消費者に近い川下ビジネスを開拓・進化

- ◆ デビジョンカンパニー間の横連携によるシナジー極大化
- ◆ 事業の掛け合わせによるビジネス変革・創出

企業ブランド価値の向上



積重ねてきた先進的な取組により、外部からの高い評価を通じて
「企業ブランド」を築き上げ、財務面の成長との相乗効果を生み、企業価値を向上

「マーケットインの発想」の下、市場・社会・生活者の声に耳を傾け
地道な定性面の磨きの継続により、ブランド価値の更なる向上を目指す

人的資本の強化

- ✓ 「学生から選ばれる企業No.1」の地位堅持による優秀な人材の確保継続
- ✓ 役員登用制度による、実力主義をベースとした年齢・性別を問わない多様な経営人材の継続的輩出
- ✓ 「厳しくとも働きがいのある会社」の実現による社員の貢献意欲向上と、更なる労働生産性の追求

ステークホルダーとの対話強化

- ✓ 幅広い対話を通じ得られる気づきを、積極的に経営に取り入れることによる、信頼の積重ね
- ✓ 独自のチャネルやビジネスを通じた、生活者との接点拡充によるプレゼンスの向上

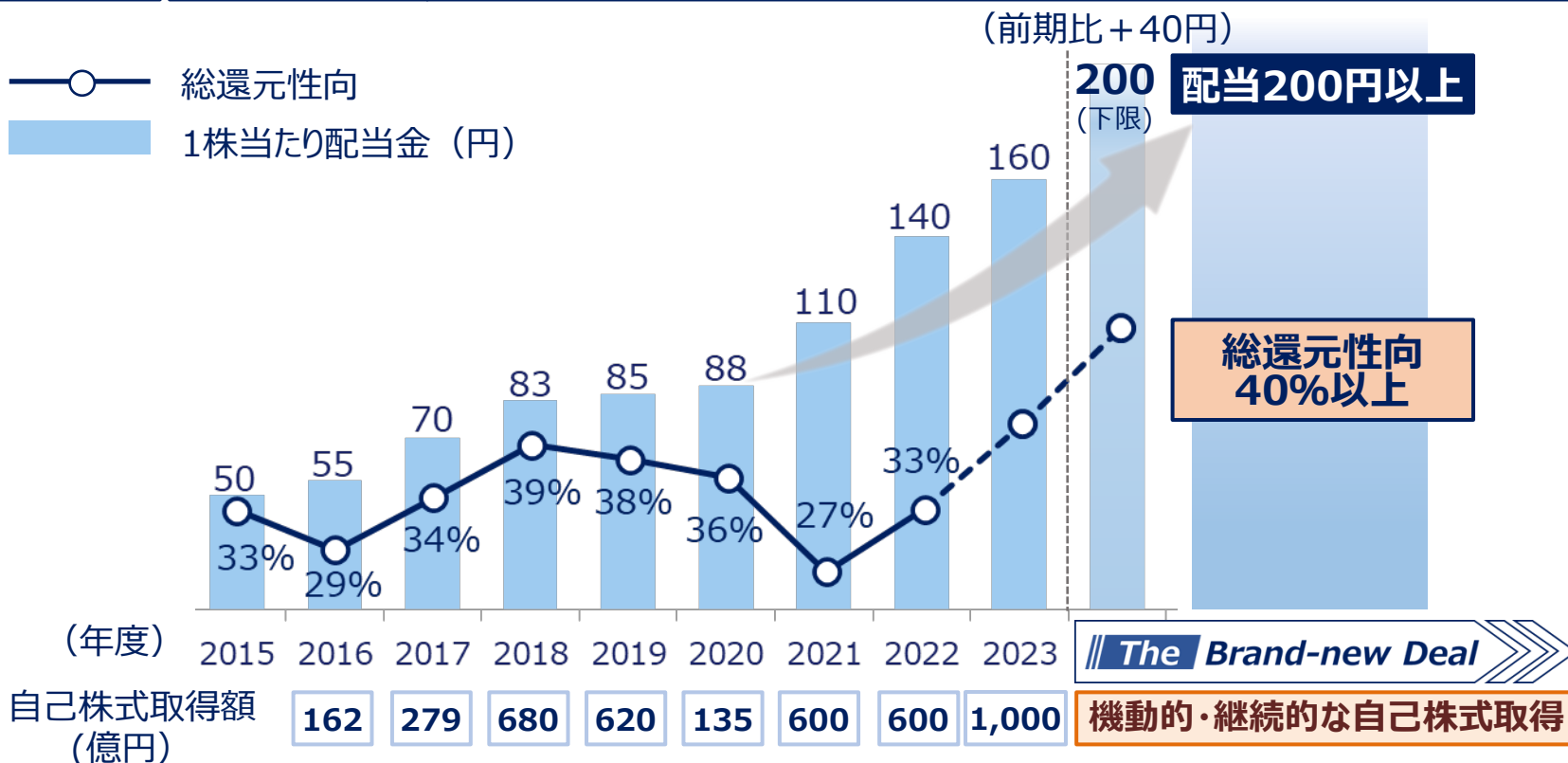
SDGsへの貢献・取組強化

- ✓ 前中計で掲げた基本方針の継続と排出削減貢献ビジネスの推進を両立し、社会的要請に継続対応

株主還元・財務方針



株主還元 方針	総還元性向	40%以上
	配当	配当性向 30% または 1株当たり 200円 のいずれか高い方 配当性向 30% を原則としつつ、 将来の収益水準を見据え 下限を200円に設定



財務 方針

3つのバランスに基づいた財務基盤堅持
 (成長投資・株主還元・有利子負債コントロール)

利益計画

連結純利益
8,800億円

ROE
16%

株主還元

総還元性向
50% 目途

配当
1株当たり **200**円下限
(前期比+40円)

自己株式取得
約 **1,500**億円

成長投資

投資額
1兆円を上限
2024年度還元後
実質営業CF
+ 前中計での余資

NET DER
0.6倍未満

(注1) 主要指標の前提は、為替(期中平均レート) : 140円/US\$, 原油(ブレント価格) : 80US\$/BBL、
金利(円 3M TIBOR) : 0.4%、金利(US\$ 3M SOFR) : 5.0% としております。

(注2) セグメント別利益計画及びその他業績予想の詳細につきましては5月8日に公表予定です。

ひとりの商人、無数の使命



www.itochu.co.jp/